

令和年8月2月10日

保護者の皆様へ

紀の川市立中貴志小学校
校長 椿本 雅敏

グループ担任制（複数学年複数担任制）の導入について

はじめに

近年、全国的に学校を取り巻く状況は大きく変化しています。学習面や生徒指導面の課題は年々複雑化し、子どもたちを一人で担任する従来の体制では、対応しにくくなってきている側面があります。また、子どもたちの人間関係づくりの力が弱くなっているという指摘もあり、1人の担任の視点だけでは十分に捉えきれない場合も増えています。こうした“今日的な教育課題”に対し、複数の教員が協力して学級を支える必要があると考え、本校ではグループ担任制への移行を検討してまいりました。

そこで、令和8年4月より全学年で従来の学級担任制を廃止し、グループ担任制（複数学年複数担任制・チーム担任制）を導入します。

1. 中貴志小学校のグループ担任制とは

本校でいうグループ担任制は、各学年を4つのグループに分け、グループ内の複数の教員がチームとなり、1週間ごとのローテーションで担任を務める新しい学級運営方法です。学年部は以下の4グループに分かれます。

・低学年部（1・2年）・中学年部（3・4年）・高学年部（5・6年）・のびっ子部
また、クラスには学級事務担当を配置し、学級事務を担当します。

2. 導入の目的

本校が制度を導入する最大の目的は「子どもが主語」の学校づくりです。複数の教員の視点で子どもを多角的に理解し、一人ひとりに合った支援を行うことを目指します。

3. 期待されるメリット

【子ども】

- ・主体性や自立が育つ
- ・学習意欲の向上
- ・多様な教員との関わりによる安心感

【保護者】

- ・多くの教員に見守られている安心感
- ・相談しやすい教員が選べる

【教員】

- ・情報共有により子ども理解が深まる

- ・出張・病休時の対応がスムーズ
- ・トラブルの早期発見につながる

4. 想定される課題

- ・担任が週替わりで変わることへの不安
- ・情報共有が十分かどうかという心配
- ・相談窓口が分かりにくいという声が想定されます

5. 課題への対策

- ・子どもの情報共有の時間確保のため日課の見直し
- ・行事の改善（成功だけでなく失敗から学ぶ行事づくり）
- ・業務改革による教員の負担軽減
- ・「今週の担任」を事前に保護者へ通知
- ・相談内容に応じて学年部内で連携して対応

6. まとめ

令和8年度から、①全学年でのグループ担任制導入②全学年での教科担任制実施
③「子どもが主語」の学校改革を推進します。

子どもたちのよりよい学びのため、ご家庭と連携しながら進めてまいります。